



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月1日

上場会社名 イビデン株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 4062 URL https://www.ibiden.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河島 浩二  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部 財務部長 (氏名) 西村 克俊 (TEL) 0584-81-3111  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	97,464	10.5	17,636	56.1	17,407	35.3	12,728	44.4
2025年3月期第1四半期	88,220	△6.7	11,295	38.1	12,868	26.2	8,816	21.0

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 21,052百万円(36.1%) 2025年3月期第1四半期 15,463百万円(△42.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	91.17	85.76
2025年3月期第1四半期	63.10	59.18

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,079,679	515,582	47.1
2025年3月期	1,081,684	497,298	45.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 508,600百万円 2025年3月期 490,494百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	20.00	—	—	—

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2026年3月期(期末)の配当予想額は、現時点で未定です。

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	190,000	4.6	27,000	△5.3	25,000	△15.3	16,000	△22.1	114.60
通期	415,000	12.3	55,000	15.5	51,000	6.5	34,000	0.9	243.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.10「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	140,860,557株	2025年3月期	140,860,557株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	1,239,741株	2025年3月期	1,250,166株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	139,618,076株	2025年3月期1Q	139,718,171株
------------	--------------	------------	--------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 当四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国の関税率引上げを含む政策変更に伴う影響に加えて、欧米における政策金利動向や為替及び株式市場の大きな変動、中国における経済成長の停滞など、不安定な状況が継続しました。国内経済においても、物価上昇の継続や世界経済の情勢変化を起因とした下押し圧力による影響を受けるなど、楽観視できない状況が継続しました。

半導体・電子部品業界の市場は、パソコン市場においては、緩やかな回復基調にはあったものの、全体として力強さに欠ける水準で推移しました。サーバー市場においては、生成AI関連を中心とした成長領域は堅調に推移しましたが、データセンター向け汎用サーバー市場の回復は緩やかな水準に留まりました。

自動車業界の排気系部品市場は、中国国内の景気減速及び米国の関税政策変更に端を発する世界的な景気先行きの不透明感により、グローバルでの自動車生産台数の伸びは鈍化しております。

このような情勢のもと、当社におきましては、2023年度より始動しております5ヵ年の中期経営計画「Moving on to our New Stage 115 Plan」に基づき、強靱かつしなやかなビジネスモデルの構築を中心とした事業競争力強化や、DXを活用したモノづくり改革など、5本の活動の柱（強化していく5つの力）と製造業としての基盤活動を軸に、事業環境変化への対応と、持続可能な成長の両立に向けた取り組みを進めております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は974億64百万円と前年同期に比べ92億43百万円(10.5%)増加しました。営業利益は176億36百万円と前年同期に比べ、63億41百万円(56.1%)増加しました。経常利益は174億7百万円と前年同期に比べ45億38百万円(35.3%)増加しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は127億28百万円と前年同期に比べて39億12百万円(44.4%)増加しました。

セグメントの概況は、次のとおりです。

#### 電子事業

電子事業におきましては、生成AI用サーバー向けの受注が好調に推移したことに加え、力強さに欠けるものの、パソコン及び汎用サーバー向け高機能ICパッケージ基板の需要が緩やかな回復基調で推移したことなどにより、売上高・営業利益ともに前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、電子事業の売上高は562億85百万円となり、前年同期に比べ25.2%増加しました。同事業の営業利益は140億28百万円となり、前年同期に比べ164.0%増加しました。

#### セラミック事業

自動車排気系部品であるディーゼル・パティキュレート・フィルター(DPF)は、受注に合わせた柔軟な生産体制を構築したものの、需要の減速に伴う販売数量の減少を受け、売上高・営業利益ともに前年同期に比べ減少しました。

触媒担体保持・シール材(AFP)は、需要の減速に伴う販売数量減の影響が続いたことに加え、一部の顧客向けに米国の関税政策変更による影響を受けたことなどにより、売上高・営業利益ともに前年同期に比べ減少しました。

特殊炭素製品(FGM)は、EV市場の調整による影響を受けたパワー半導体向け需要の減速に加え、市況変化による一部顧客の在庫調整ならびに能増投資に伴う償却費増加などにより、売上高・営業利益ともに前年同期に比べ減少しました。

EVバッテリー用安全部品(NEV)は、今年度より、技術開発本部からセラミック事業本部へ事業移管しております。量産開始により売上高は前年同期に比べ増加したものの、量産立上げおよび拡販に向けた販売費用が発生したことにより、営業利益は前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、セラミック事業の売上高は196億円となり、前年同期に比べ16.8%減少しました。同事業の営業利益は20億96百万円となり、前年同期に比べ51.0%減少しました。

#### その他事業

建材部門におきましては、建築基準法改正の影響を受け、住宅着工が遅れ販売棟数が減少したことにより、売上高は前年同期に比べ微減となりました。

建設部門におきましては、発電設備・排水処理設備の建設工事の受注が堅調に推移したことに加え、大型工事が順調に進捗したことにより、売上高は前年同期に比べ増加しました。

その他部門におきましては、造園事業において大型物件の施工が順調に推移したことにより、売上高は前年同期に比べ増加したものの、ヘルスケア事業において特定健診制度改正に伴う受注が収束したことなどにより、営業利益は前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、その他事業の売上高は215億78百万円となり、前年同期に比べ9.5%増加しました。同事業の営業利益は、15億3百万円となり、前年同期に比べ15.0%減少しました。

#### (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1兆796億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ0.2%減少しました。総資産の増加の主な要因は、投資有価証券が116億55百万円増加した一方で、現金及び預金が164億28百万円減少したことによりです。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は5,640億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ3.5%減少しました。負債合計の減少の主な要因は、未払法人税等が102億68百万円、未払金が79億38百万円減少したことによりです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,155億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ3.7%増加しました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金が99億31百万円、その他有価証券評価差額金が80億7百万円増加したことによりです。

#### (3) 当四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、3,742億28百万円となり、前連結会計年度末より164億28百万円減少しました。

各キャッシュ・フローの概要は、次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は、95億62百万円となり、前年同期に比べ、11億52百万円の資金の増加となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益と減価償却費が増加したことと、売上債権の減少により資金が増加したこと、仕入債務の減少により資金が減少したことによりです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用された資金は、232億95百万円となり、前年同期に比べ、33億87百万円の資金の増加となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出額が減少したことによりです。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用された資金は、29億3百万円となり、前年同期に比べ、99百万円の資金の減少となりました。これは自己株式の売却による収入が減少したことによりです。

#### (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月8日に公表した2026年3月期第2四半期(中間期)及び通期の連結業績予想を修正しました。詳細については、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	390,656	374,228
受取手形、売掛金及び契約資産	65,570	62,474
電子記録債権	2,650	2,675
商品及び製品	23,010	25,127
仕掛品	20,520	19,322
原材料及び貯蔵品	23,645	23,103
その他	23,615	25,764
貸倒引当金	△89	△318
流動資産合計	549,580	532,378
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	163,352	166,065
機械装置及び運搬具（純額）	63,711	63,231
土地	23,645	23,711
リース資産（純額）	168	145
建設仮勘定	202,019	205,029
その他（純額）	7,156	7,336
有形固定資産合計	460,054	465,519
無形固定資産		
4,349		4,269
投資その他の資産		
投資有価証券	58,797	70,452
長期貸付金	7	7
繰延税金資産	7,159	5,271
その他	1,931	1,977
貸倒引当金	△195	△196
投資その他の資産合計	67,699	77,512
固定資産合計	532,103	547,300
資産合計	1,081,684	1,079,679

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,483	27,110
電子記録債務	10,278	9,127
短期借入金	50,000	50,000
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払金	58,671	50,733
未払法人税等	14,869	4,601
前受金	92,084	89,764
賞与引当金	4,918	2,682
役員賞与引当金	170	-
設備関係電子記録債務	6,208	9,838
その他	22,033	22,040
流動負債合計	327,717	305,896
固定負債		
社債	60,000	60,000
転換社債型新株予約権付社債	72,976	72,851
長期借入金	120,000	120,000
リース債務	84	79
再評価に係る繰延税金負債	70	70
退職給付に係る負債	800	808
株式報酬引当金	582	580
繰延税金負債	1,015	2,749
その他	1,138	1,059
固定負債合計	256,668	258,199
負債合計	584,385	564,096
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	64,152	64,152
資本剰余金	64,565	64,565
利益剰余金	283,807	293,738
自己株式	△3,497	△3,453
株主資本合計	409,027	419,003
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,416	37,423
繰延ヘッジ損益	-	104
土地再評価差額金	158	158
為替換算調整勘定	51,892	51,911
その他の包括利益累計額合計	81,466	89,597
非支配株主持分	6,803	6,981
純資産合計	497,298	515,582
負債純資産合計	1,081,684	1,079,679

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	88,220	97,464
売上原価	62,606	62,392
売上総利益	25,614	35,072
販売費及び一般管理費	14,319	17,435
営業利益	11,295	17,636
営業外収益		
受取利息	454	563
受取配当金	1,079	665
持分法による投資利益	-	0
為替差益	109	-
その他	196	144
営業外収益合計	1,840	1,374
営業外費用		
支払利息	214	351
持分法による投資損失	0	-
為替差損	-	127
休止固定資産減価償却費	-	967
その他	51	157
営業外費用合計	266	1,603
経常利益	12,868	17,407
特別利益		
固定資産売却益	7	367
投資有価証券売却益	0	-
補助金収入	853	911
その他	6	24
特別利益合計	866	1,302
特別損失		
固定資産除却損	426	152
減損損失	-	506
固定資産圧縮損	853	911
支払補償費	524	40
その他	6	53
特別損失合計	1,810	1,663
税金等調整前四半期純利益	11,925	17,046
法人税等	3,030	4,168
四半期純利益	8,895	12,877
非支配株主に帰属する四半期純利益	78	148
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,816	12,728

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	8,895	12,877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,508	8,060
繰延ヘッジ損益	△244	104
為替換算調整勘定	12,321	9
その他の包括利益合計	6,568	8,174
四半期包括利益	15,463	21,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,381	20,859
非支配株主に係る四半期包括利益	82	192

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	11,925	17,046
減価償却費	10,198	11,667
減損損失	-	506
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,481	△2,236
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△122	△170
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	229
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	65	7
受取利息及び受取配当金	△1,533	△1,229
支払利息	214	351
持分法による投資損益 (△は益)	0	△0
固定資産売却損益 (△は益)	△7	△367
固定資産除却損	426	152
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	-
売上債権の増減額 (△は増加)	1,257	3,592
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△760	△177
仕入債務の増減額 (△は減少)	△631	△2,575
前受金の増減額 (△は減少)	△3,078	△2,319
未払費用の増減額 (△は減少)	955	908
固定資産圧縮損	853	911
補助金収入	△853	△911
その他	△7,728	△3,588
小計	8,690	21,796
利息及び配当金の受取額	1,409	1,104
利息の支払額	△214	△351
法人税等の支払額	△2,327	△13,898
補助金の受取額	853	911
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,410	9,562
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△26,067	△23,271
有形固定資産の売却による収入	15	307
無形固定資産の取得による支出	△352	△231
投資有価証券の取得による支出	△8	△9
投資有価証券の売却による収入	0	-
長期貸付金の回収による収入	0	0
その他	△269	△90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,682	△23,295

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1	△0
自己株式の売却による収入	110	44
配当金の支払額	△2,797	△2,797
非支配株主への配当金の支払額	△14	△14
リース債務の返済による支出	△100	△135
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,803	△2,903
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,787	207
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△18,288	△16,428
現金及び現金同等物の期首残高	443,583	390,656
現金及び現金同等物の四半期末残高	425,295	374,228

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算・・・見積実効税率を利用して税金費用を計算する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子	セラミック	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	44,949	23,571	68,520	19,700	88,220	—	88,220
外部顧客への売上高	44,949	23,571	68,520	19,700	88,220	—	88,220
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	5	8	5,338	5,346	△5,346	—
計	44,952	23,576	68,528	25,038	93,567	△5,346	88,220
セグメント利益	5,314	4,282	9,596	1,769	11,366	△71	11,295

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設、建材、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△71百万円は、セグメント間取引消去△50百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社費用△20百万円であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子	セラミック	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	56,285	19,600	75,885	21,578	97,464	—	97,464
外部顧客への売上高	56,285	19,600	75,885	21,578	97,464	—	97,464
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7	7	3,213	3,221	△3,221	—
計	56,285	19,608	75,893	24,792	100,685	△3,221	97,464
セグメント利益	14,028	2,096	16,125	1,503	17,628	7	17,636

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設、建材、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額7百万円は、セグメント間取引消去44百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社費用△36百万円であります。
- 3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 4 「電子」のセグメント利益には、営業外費用として計上している休止固定資産減価償却費967百万円を含んでおりません。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

その他セグメントにおいて、遊休資産に係る減損損失を506百万円計上しております。